

.....編集後記.....

◆今月号は前半に、世界の地質調査所をとりまく最近の社会情勢やこれに対する方策など、いつもとは若干異なる話題を集めてあります。IGCの開会式では、通産大臣から世界自然災害図という具体的な提案がありました。本号の巻頭には大臣のご挨拶全文を掲載すると共に、関連する周辺の動きを当所の国際協力室長に解説して頂きました。第1回世界地質調査所会議については、出席した所長と企画室長による報告が掲載されております。服部氏と河内氏の報告にも、イギリスやニュージーランドの近況がそれぞれ詳しくあるいは生々しく描かれております。

◆後半には、最近のトピックとして、上記の話題とも関係する地球環境問題について小川・大嶋両氏に、また関東山地の三波川帯の地質構造について橋本氏にご寄稿頂いた論説・解説が掲載されております。ご寄稿頂いた皆様にお礼申し上げます。

◆なお、IGCについては、来年3月号に特集を予定しております。遅くなりますが、3月末出版を目標に現在作成中のプロシーディングの日本語解説版といった性格の号になる見込みです。

◆さて先月号のこの欄には、現在に至る経過を簡単に書いておいたのですが、強調したかったのは、開かれた・官報的でない・より多くの人に読まれる雑誌を目指すべきだという事です。諸般の事情で今月号も担当することになりましたが、編集の分担制も整いつつあるので、更に変化に富む雑誌になるでしょう。読者諸氏のいっそうのご支援とご批判を頂ければ幸いです。

副委員長 佐藤興平 記

.....  
 【訂正】7月号5頁第1表7行目  
 支那(誤) →支那(正)

地質ニュース編集委員会

委員長：佐藤壮郎  
 副委員長：佐藤興平・磯部一洋  
 幹事：宮崎光旗・奥村公男  
 委員：柴田 賢・滝沢文教・岡村行信・村岡洋文・  
 渡部芳夫・井内美郎・金沢康夫・佐藤岱生  
 事務局：総務部業務課広報係（山口秀樹・清水真寿美）  
 〒305 つくば市東1-1-3 地質調査所  
 地質ニュース編集委員会  
 事務局 Tel. 0298-54-3520  
 Fax. 0298-54-3533

地質ニュースに対するご意見は編集委員会へ

原稿募集中！

地質ニュースに寄稿される方へ

1. 地球科学各分野の最近の話題・総説・解説など多方面の原稿を募ります。
2. 原稿は図・表・写真を含め、原則として刷上がり15ページ以内とします。これをこえる場合は事務局に相談して下さい。地質ニュース原稿用紙（25×18字）4枚半が1ページに相当します。
3. ワードプロセッサ使用の場合も、A4判用紙に1行23字とし、行数は20-25行程度として下さい。
4. 句読点・引用符などもすべて1字として下さい。
5. 図・表・写真は本文とは別に1ページとして、それぞれに番号をつけるとともに、希望する掲載サイズを余白に記入して下さい。これらにつける説明文は、本文とは別の原稿用紙に書いて下さい。とくに図と写真は、縮小率を考へ鮮明なものを提出して下さい。
6. 原稿の右欄外に図・表・写真の希望する挿入位置を鉛筆で記入して下さい。
7. 表紙やグラビアに用いるカラー写真は、プリント版の他に原版のポジ（スライド）を提出して下さい。プリント版のみの場合は、カビネ〜六切サイズ（表紙は六切）のものに限ります。
8. 原稿は事務局に提出して下さい。編集委員会から受付カードを発行します。掲載は原則として受付順としますが、速報性の高いものは優先的に印刷したいと思います。

<地質ニュース編集委員会>

購読者募集中 申し込みは編集委員会へハガキで

地 質 ニ ュ ー ス	第459号 1992年 11月号
	定価 ￥770 千 実 費
1992年11月1日 発行	
編 集	工業技術院地質調査所
発 行 人	林 久 雄
発 行 所	株式会社実業公報社
	東京都千代田区九段南4の2の12
	〒102
	Tel. (03)3265-0951 (代表)
	振替口座 東京1-32466
	麹町局私書箱第21号
印 刷	小宮山印刷工業株式会社

©1992 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞が関区発行物サービスセンター、八重洲ブックセンター(株)本店およびつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります。品切れの際は店頭で注文してください。